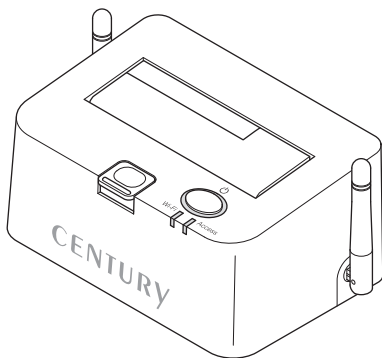


裸族のお立ち台Wi-Fi

CROSU3WF 取扱説明書



CENTURY

もくじ

はじめに	6
●安全上のご注意	6
●制限事項	8
●ご使用前に	9
製品仕様	10
●本体仕様	10
●無線LAN仕様	11
対応情報	12
●対応HDD/SSD	12
●対応機種	13
製品内容	14
各部の名称	16
HDD/SSDの取り付け方法	18
●HDD/SSD接続の前に	18
●接続および電源投入順序のご注意	19
●3.5" HDDの取り付け方法	20
●2.5" HDDの取り付け方法	21
ドライブの取り外し方法	22

電源のオン・オフ方法 24

- 本製品の電源をオン・オフする 24

それぞれの接続の設定方法 25

- 中もくじ 25

Wi-Fi接続の設定方法 26

- Wi-Fi接続の概要 26
- Windows 8 の場合 28
- Windows 7 の場合 30
- Windows Vista の場合 32
- Mac OS の場合 34
- iOS (iPhone/iPad/iPod touch) の場合 36
- Androidスマートフォン・タブレットの場合 38

有線LAN接続の設定方法 40

- 有線LAN接続の概要 40
- 有線LAN接続の手順 41

PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通) 42

- ユーティリティソフト「IkasuFinder」について 43
- 本製品に格納されているIkasuFinderをダウンロードする 44
- Windows PCからのアクセス方法 46
- Mac OS からのアクセス方法 50

もくじ

本体の各種設定を行う(Wi-Fi/有線LAN共通) 52

- リセット方法 52
- 小もくじ 53
- 本製品のIPアドレスを設定する 54
- スリープ機能を無効にする 56
- スリープ機能の設定方法 57
- 仮想メモリを無効にする 59
- 仮想メモリの設定方法 60
- 本製品のセキュリティ設定を変更する 62
- 本製品のSSIDを変更する 64
- 本製品のSSIDを非表示にする(SSIDステルス機能) 66
- 本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする 71

本製品とPCをUSBで接続する 74

- USB接続 74
- 接続方法 75

トラブルシューティング 76

FAQ 79

巻末付録

巻末付録1

- 領域の確保とフォーマット 巻末付録2
- ハードウェアの取り外しについて 巻末付録8
- ハードウェアの取り外し手順 巻末付録8
- Mac OS での使用方法 巻末付録10
- サポートのご案内 巻末付録14

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
まず。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

●安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

警告

■ 煙が出る、異臭がする、異音がでる

煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■ 不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台のうえや傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■ 電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■ 電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードのうえに機器本体や重い物を置いたり、釘などで固定すると傷ついて芯線の露出や断線などによる火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。

また、足を引っかけるおそれのある位置などには設置しないでください。

■ 雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ めれた手で機器に触れない

めれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

注意

■ 設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・ 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- ・ 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- ・ 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温なところ
- ・ 火花があたる所、高温の熱源、炎が近いところ
- ・ 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたる所
- ・ 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントの粉塵、ほこりが多いところ
- ・ 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込める所
- ・ 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込める所
- ・ 直射日光のあたる所

■ 長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■ 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線などの原因となります。

■ 小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けがなどの原因になることがあります。

■ 静電気を与えないでください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

●制限事項

- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失などについては、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
このような環境下での使用に関して、弊社では一切その責を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品はSATA専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。

●ご使用前に

- 本書の内容などに関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- Apple、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone、iPad、iPod touch はApple Inc.の商標です。
- Google および Googleロゴ、Google Play および Google Playロゴ、Android および Androidロゴ は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- PlayStation 3 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- その他、本書に記載の各商品、および製品、社名は各社の商標または登録商標です。
- 本書内の操作画面は開発中のものとなり、実際の画面と異なる場合がございます。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 本製品にスマートフォンは付属しません。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

製品仕様

● 本体仕様

- 型番：CROSU3WF
- 商品名：裸族のお立ち台Wi-Fi
- インターフェイス：【デバイス側】
SATA I/II/3.0 1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
【ホスト側】
〔USB〕USB3.0/2.0 (Standard Bタイプ)
〔有線LAN〕10/100BASE/T AUTO MDI/MDI-X
- 寸法：W144×H98×D69mm(ドライブ、突起物含めず)
- 重量：約560g(付属品含めず)
- 温度・湿度：温度5℃～35℃・湿度20%～80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)
- ACアダプター仕様：入力 100V～240V 出力 12V 2.5A

●無線LAN仕様

- 規格：IEEE802.11b/g/n 2.4GHz
- 転送速度(理論値)：150Mbps*
*実際の転送速度は5～7MB/秒程度となります。
- セキュリティ：WEP/WPA/WPA2 SSIDステルス
- 接続方式：APモード/APクライアントモード
- 同時アクセス可能数：最大5台（アクセス状況により変動します）

●SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。HDD/SSDの接続コネクタには、メーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

また、本製品の構造上、HDD/SSDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

●対応HDD/SSD

■2.5/3.5インチのSATA HDD/SSD (SATA I/II/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

- ※PATA(IDE)HDD/SSDは接続できません。
- ※本製品はSATA 6Gbps HDDに対応していますが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。
また、Wi-Fi/有線LAN接続時の転送速度は通信環境等にもよりますが、およそ5～7MB/秒程度となります。
- ※6TBまでのHDDで動作確認を行っております(2014年6月現在)。
対応HDDの最新情報は、サポートセンターにお問い合わせください。
- ※SAS(Serial Attached SCSI)HDD/SSDは使用できません。
- ※1.8インチ、ZIFコネクタ、Micro SATAコネクタ、PCIe接続、3.3V駆動12V駆動およびSATA接続以外の特殊形状のHDD/SSDは使用できません。
また、SLCタイプのSSDも動作保証対象外となります。
- ※2.5インチHDD/SSDの動作は5V駆動のものに限ります。
3.3V駆動のHDD/SSDは動作しません。

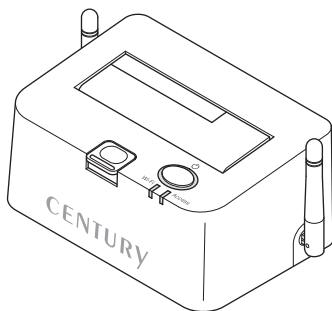
●対応機種

- iOS 6 以降を搭載した iPhone/iPad/iPod touch
- Android OS 2.3 以降を搭載したスマートフォン・タブレット
- Windows 8(8.1)/7/Vista を搭載したPC/AT互換機
- Mac OS 10.6 以降を搭載したIntel Mac
- DLNAに対応したメディア再生機器（PlayStation 3など）

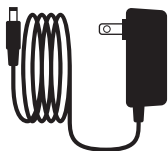
- Wi-Fi接続を行う場合は、使用する機器側にWi-Fi機能が搭載されている必要があります。
- 外出先等からのインターネットアクセスを行う場合は、使用する機器側に携帯電話回線契約やインターネット接続環境が必要になります。
また、本製品をUPnPに対応したブロードバンドルータに接続する必要があります。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご確認ください。
- QRコード読み込みのため、スマートフォン・タブレット本体にカメラが搭載されている必要があります。
- アプリのダウンロードのため、App StoreおよびGoogle Playストアにアクセスする必要があります。それぞれのストアにアクセスできないスマートフォン・タブレットでは使用できません。
- モバイルルーターには対応しておりません。

製品内容

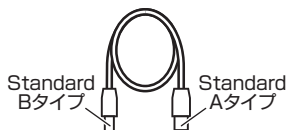
- CROSU3WF 本体



- 専用ACアダプター



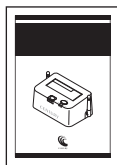
- 専用USB3.0ケーブル



- インターネットアクセス用
QRコード (本体底面に貼付済み)

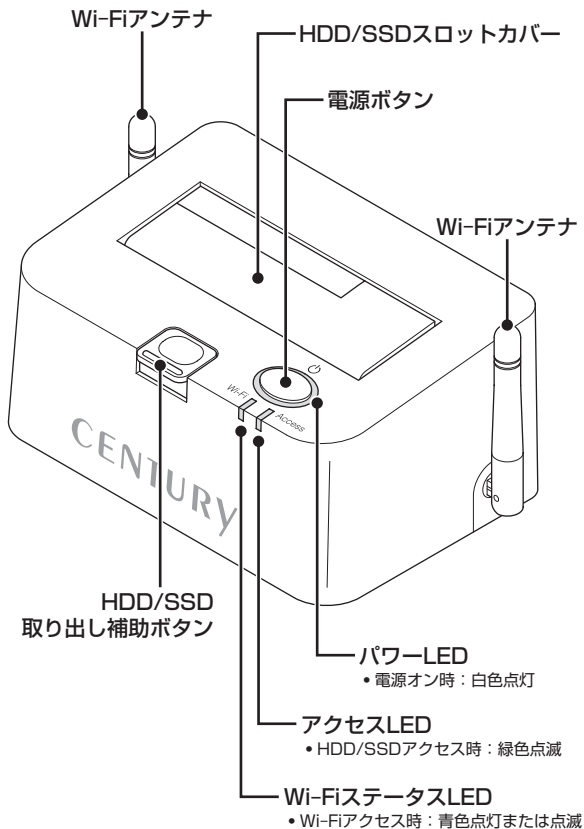


- 取扱説明書/保証書



各部の名称

【フロント】



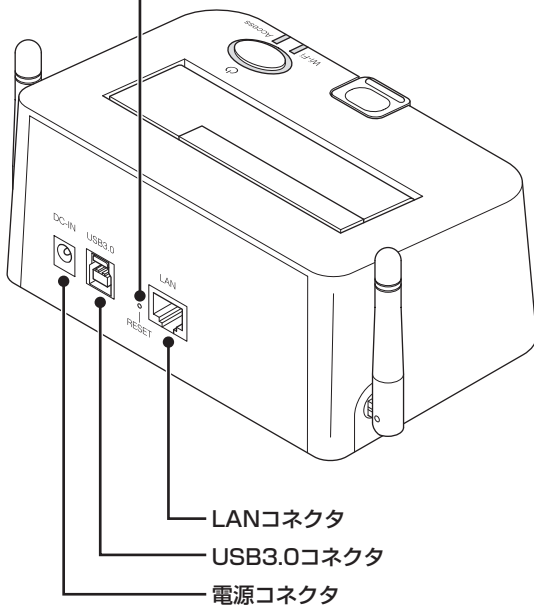
【リヤ】

RESETボタン*

→本製品のIDやパスワード、SSID等の設定を工場出荷時状態に初期化します。

(接続したHDD/SSDのデータは初期化されません。)

※奥にあるボタンを、ピンなどの細い棒で押してください。



HDD/SSDの取り付け方法

●HDD/SSD接続の前に

- HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

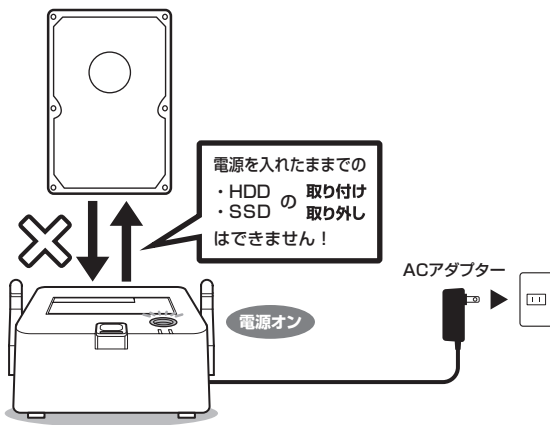
■注意！

すでにデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

● 接続および電源投入順序のご注意



- 本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- 本製品のみ接続、または電源投入後の抜き差し(ホットスワップ)には対応しておりません。
※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。



HDD/SSDの取り付け方法

●3.5" HDDの取り付け方法

※本製品はシリアルATA(SATA)HDD/SSD専用です。
パラレルATA(PATA)は接続できません。

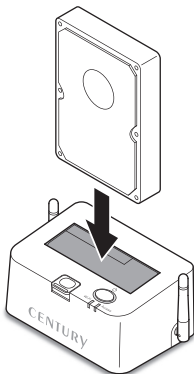


SATAコネクタ

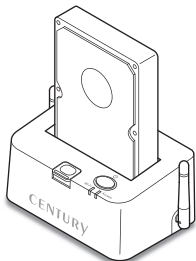


PATAコネクタ

1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉



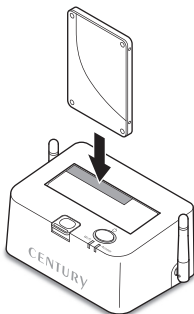
■注意!

HDDを装着する際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。

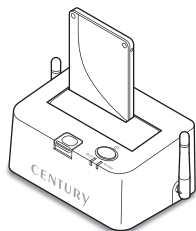
ちから任せに押し込むと破損や故障の原因となります。

●2.5" HDDの取り付け方法

1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品の2.5" HDD用切り欠き部分にゆっくりと差し込みます。



〈完成図〉



■注意！

HDDを装着する際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。

ちから任せに押し込むと破損や故障の原因となります。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDD/SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDD/SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

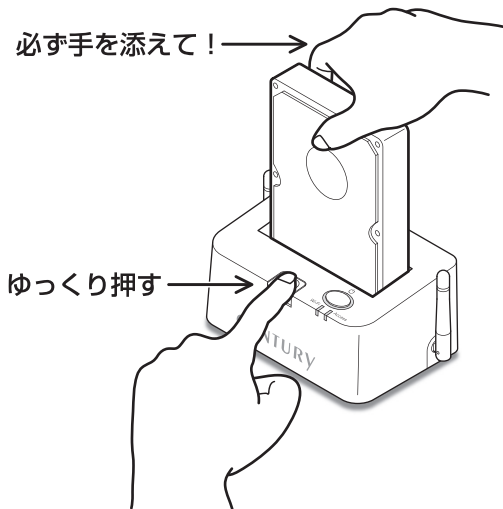
デリケートな
裸族を
守るのう！



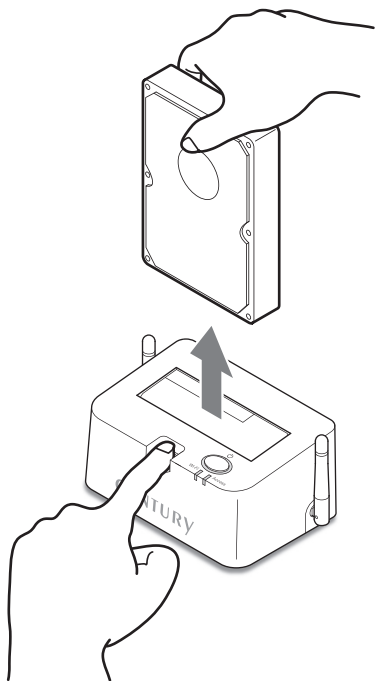
ドライブの取り外し方法

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1. ドライブに手を添えながら、ドライブ取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



2. ドライブ取り出し補助ボタンを押すとドライブがせり出てきますので、ゆっくりと垂直にドライブを取り外します。

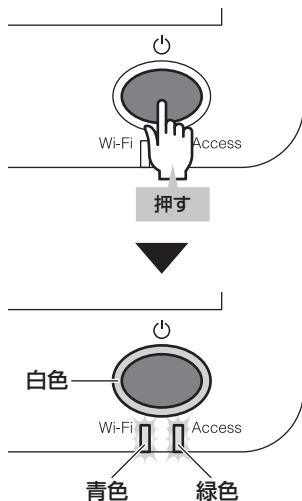


電源のオン・オフ方法

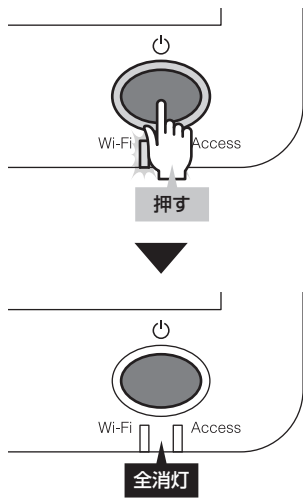
●本製品の電源をオン・オフする

図のようにして本製品の電源をオン/オフします。

電源オン



電源オフ



※電源オフ後、再び電源をオンにする場合は、5秒程度待ってから電源を入れてください。

※Wi-FiステータスLED/アクセスLEDは電源オン後、15～20秒後に点灯または点滅します。

※USB接続時、Wi-FiステータスLEDは点灯しません。

それぞれの接続の設定方法

本製品はWi-Fi接続、有線LAN接続、USB3.0接続にて使用できます。
本項をお読みいただき、ご自身の使用目的に沿った接続方法をお選びください。

- 本項では主にPC、スマートフォン・タブレットでの接続の流れと、PCから本製品へアクセスする方法を説明します。
スマートフォン・タブレットから本製品にアクセスする場合は、専用アプリ「IkasuFileManager」が必要となります。

- 「IkasuFileManager」のダウンロード方法と詳しい使用方法は、弊社ウェブサイト
に公開されている取扱説明書PDFをご参照ください。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>

- PCから本製品にWi-Fiまたは有線LANでアクセスする際は、ユーティリティソフトウェア「IkasuFinder」が必要となります。
ソフトウェアは本製品に格納されているほか、弊社ウェブサイトからもダウンロード可能です。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/crosu3wf.html>

ダウンロード方法については、P.44「●本製品に格納されているIkasuFinderをダウンロードする」をご確認ください。



注意

最初の起動の際には、HDD内のファイルをチェックして仮想メモリファイルを作成します（作成中はアクセスLEDが点滅します）。

この仮想メモリファイルを作成している間は、CROSU3WFの動作がかなり遅くなります。

初期設定の作業にも影響を与える場合がありますので、仮想メモリファイルの作成が終わってからの作業をおすすめいたします。

※仮想メモリファイルの作成時間はHDD内のファイル数によって変わります。

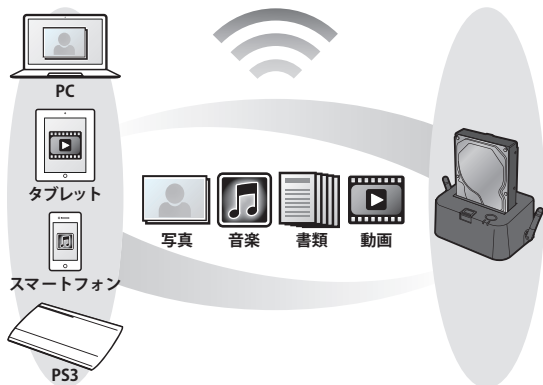
— 中もくじ —

【Wi-Fi接続の設定方法】	P.26
【有線LAN接続の設定方法】	P.40
【PCから本製品にアクセスする(Wi-Fi/有線LAN共通)】	P.42
【本体の各種設定を行う(Wi-Fi/有線LAN共通)】	P.52
【本製品とPCをUSBで接続する】	P.74

Wi-Fi接続の設定方法

●Wi-Fi接続の概要

本製品とPC、スマートフォン・タブレットをWi-Fiで接続します。
モデムやブロードバンドルータ等のインターネット接続環境がなくても、PCやスマートフォン・タブレットがWi-Fi接続に対応していればワイヤレスでデータアクセスが可能です。



※本接続は、PCやスマートフォン・タブレット等と本製品を直接Wi-Fi接続するものです。

「既存のLAN環境に本製品を組み込むことはできません。」

既存のLAN環境に本製品を組み込みたい場合や、外部からCROSU3WFにアクセスを行いたい場合は、有線LAN接続を行ってください。

→P.40【有線LAN接続の設定方法】

ご使用される機器やOSによって設定方法は変わりますので、次のページをご参照のうえ、設定を行ってください。

〈Wi-Fi接続の設定方法〉

- Windows 8 の場合→P.28
- Windows 7 の場合→P.30
- Windows Vista の場合→P.32
- Mac OS の場合→P.34
- iOS(iPhone/iPad/iPod touch) の場合→P.36
- Androidスマートフォン・タブレットの場合→P.38

Wi-Fi接続の設定方法

●Windows 8 の場合

※本製品をPCとUSB接続した状態ではWi-Fiは使用できません。

※無線LANルーターやモデムの設定は必要ありません。

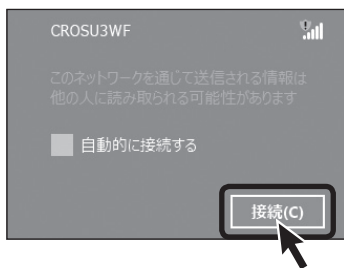
- ①モダンUIの右下にマウスカーソルを移動(またはタッチ)し、「設定」を選択します。



②「ネットワーク」を選択します。



③Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CROSU3WF」を選択し「接続」をクリックまたはタッチします。



④ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーは本体設定で変更可能です。
→P.62「●本製品のセキュリティ設定を変更する」



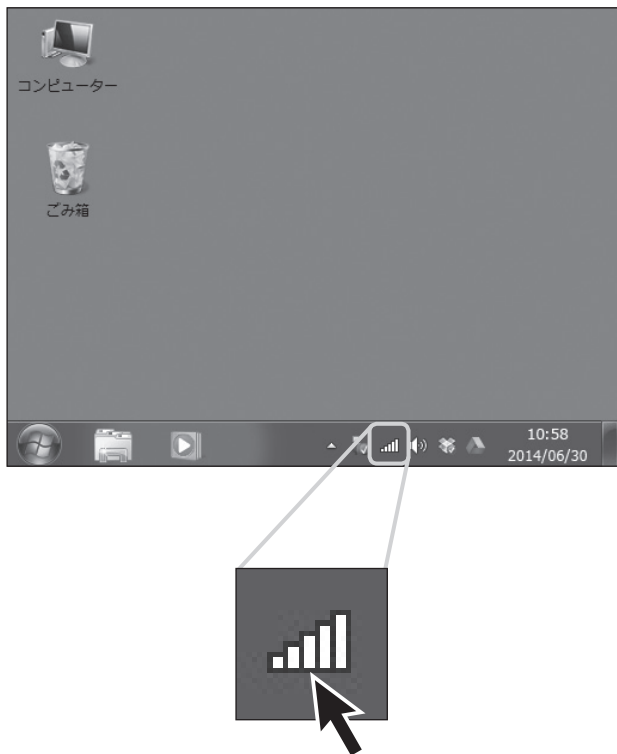
これでWi-Fi接続の設定は終わりです。

P.42【PCから本製品にアクセスする】へ進みます。

Wi-Fi接続の設定方法

●Windows 7 の場合

①タスクバー右下のWi-Fiマークをクリックします。



→P.33の②へ進みます。

Wi-Fi接続の設定方法

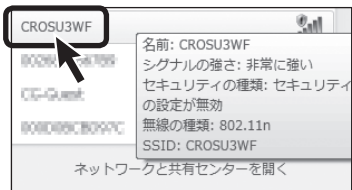
●Windows Vista の場合

①「スタート」→「接続先」の順にクリックします。

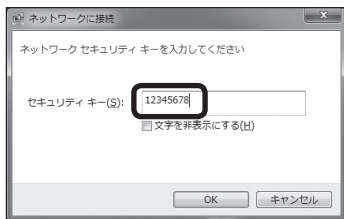


→P.33の②へ進みます。

- ②Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CROSU3WF」を選択し「接続」をクリックします。



- ③ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーは本体設定で変更可能です。
→P.62【●本製品のセキュリティ設定を変更する】



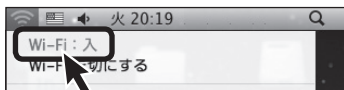
これでWi-Fi接続の設定は終わりです。
P.42【PCから本製品にアクセスする】へ進みます。

Wi-Fi接続の設定方法

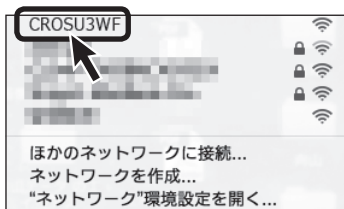
●Mac OS の場合

- ①上部タスクバーのWi-Fiマークをクリックします。

※Wi-Fiを使用していない場合、「Wi-Fiを入にする」をクリックしてください。



- ②Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CROSU3WF」を選択し「接続」をクリックします。



- ③ネットワークセキュリティキーを入力します。

出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。セキュリティキーは本体設定で変更可能です。

→P.62【●本製品のセキュリティ設定を変更する】



これでWi-Fi接続の設定は終わりです。

P.42【PCから本製品にアクセスする】へ進みます。

Wi-Fi接続の設定方法

●iOS (iPhone/iPad/iPod touch) の場合

- ① ホーム画面から「設定」をタッチします。



- ② 「Wi-Fi」をタッチします。



- ③ Wi-Fiを使用していない場合はWi-Fiをオンにします。
Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CROSU3WF」を選択し「接続」をタッチします。



- ④ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーの変更はアプリ「IkasuFileManager」の設定から可能です。
これでWi-Fi接続の設定は終わりです。



アプリからのアクセスについては、
弊社Webサイトの【iOS用アプリ
マニュアル】をご参照ください。

Wi-Fi接続の設定方法

●Android スマートフォン・タブレットの場合

※画面は「Nexus 7」のものになります。ご使用の機種やOSのバージョンにより操作方法や表示が異なる場合がありますので、詳しくは、ご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。

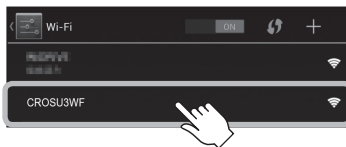
- ①「アプリ」内の「設定」をタッチします。



- ②Wi-Fiを使用していない場合はWi-Fiをオンにします。
その後「Wi-Fi」をタッチします。



- ③Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CROSU3WF」を選択すると自動的に接続が開始します。



- ④ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーの変更はアプリ「IkasuFileManager」の設定から可能です。

これでWi-Fi接続の設定は終わりです。
アプリからのアクセスについては、弊社Webサイトの【Android用アプリマニュアル】をご参照ください。



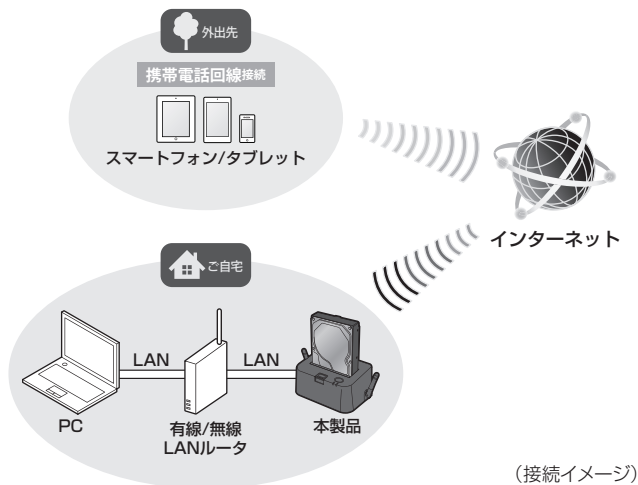
有線LAN接続の設定方法

●有線LAN接続の概要

本製品とuPnP対応のブロードバンドルータを有線LAN接続することで、同一ネットワーク内のPCから本製品にアクセスが可能です。

また、無線LAN対応ブロードバンドルータに接続すれば、アプリ経由でスマートフォン・タブレットから本製品にアクセスすることも可能です。

※本製品の無線LAN機能を使って既存のLAN環境に接続することはできません。



外出先からスマートフォンやタブレットで本製品にインターネットアクセスする場合も有線LAN接続が必要になります。

詳しくは、スマートフォン専用アプリ「IkasuFileManager」の取扱説明書をご確認ください。

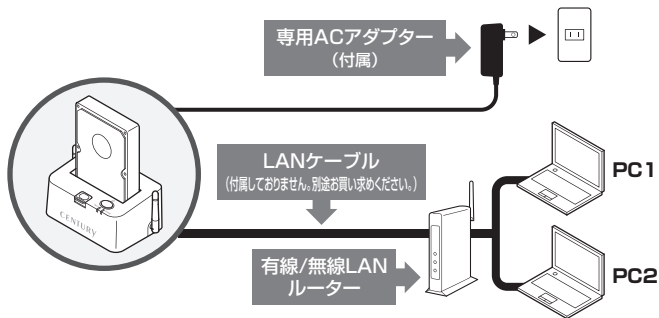
「IkasuFileManager」のダウンロード方法と詳しい使用方法は、弊社ウェブサイトにて公開されている取扱説明書PDFをご参照ください。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>

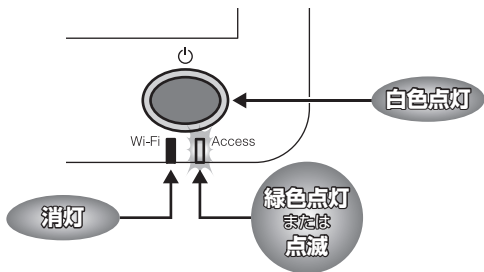
●有線LAN接続の手順

下図のように接続します。

【接続例】



【電源オン時】



PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通)

本項では、PCから本製品にアクセスする方法を説明します。

スマートフォン・タブレットから本製品にアクセスする方法は、下記弊社WebサイトのPDFマニュアルをご参照ください。

<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>



注意

- 初回アクセス時には、ユーティリティソフト「IkasuFinder」が必要です。
- PCから本製品にアクセスする場合、データの転送速度はおよそ5～7MB/秒程度になります。
大量のデータをコピーするなどの際は、PCと直接USB接続することをお勧めします。
- 本製品は一般的なNASのように、ユーザIDを追加してフォルダ、ファイルごとにアクセス制限をすることはできませんので、あらかじめご注意ください。
- 新しいHDD/SSDを搭載した場合は、あらかじめPCとUSB接続して領域の確保とフォーマットを行う必要があります。
Wi-Fi接続時はHDD/SSDのフォーマットはできませんのでご注意ください。
領域の確保とフォーマットについては、巻末付録【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。
- すでにデータが入っていて、かつ対応フォーマット(FAT32、exFAT、NTFS、HFS+)のHDD/SSDを搭載している場合は、上記作業は必要ありません。

●ユーティリティソフト「IkasuFinder」について

- ユーティリティソフト「IkasuFinder」は、PCからWi-Fi/有線LAN接続した本製品のIPアドレスを取得し、本製品にアクセス可能にするソフトウェアです。
- 本ユーティリティは初回の設定のみ必要となります。
Wi-Fi、有線LANそれぞれ設定を行えば、次回からは本ユーティリティの起動は必要ありません。
- Wi-Fi接続でご使用の場合は次ページ
■本製品に格納されているIkasuFinderをダウンロードする
をご参照ください。
- 有線LAN接続でご使用の場合は、弊社ウェブサイトより「IkasuFinder」をダウンロードしてください。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/crosu3wf.html>

PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通)

●本製品に格納されているIkasuFinderをダウンロードする

■有線LANでご使用の場合

弊社ウェブサイトから「IkasuFinder」のダウンロードを行ってください。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/crosu3wf.html>

■Wi-Fi接続でご使用の場合

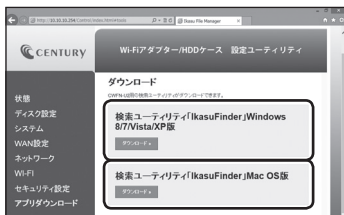
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター（リターン）キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「アプリダウンロード」をクリックします。



- ③ご使用のOSによってダウンロードファイルを選択します。



Windows の場合

→ **【検索ユーティリティ「IkasuFinder」Windows 8/7/Vista版】**

Mac の場合

→ **【検索ユーティリティ「IkasuFinder」Mac OS版】**

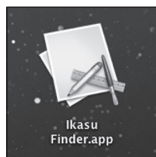
の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

- ④ダウンロードファイルの保存先に次のファイルがダウンロードされていればダウンロード成功です。

<Windows>



<Mac>



Tips

ダウンロードしたファイルが見つからない場合…

ヒューリスティック機能のあるウイルス対策ソフトをインストールされている場合、本ユーティリティをウイルスと誤認識される場合があります。

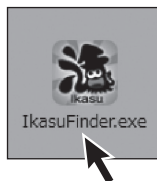
ウイルス対策ソフトのマニュアル、ヘルプをご参照のうえ、除外設定を行ってご使用ください。

PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通)

●Windows PCからのアクセス方法

- ①ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてユーティリティを起動します。

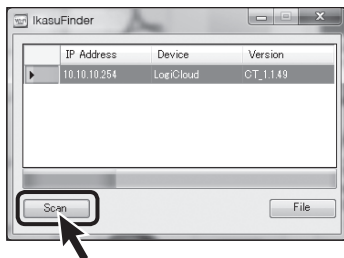
※起動の際、セキュリティの設定によってファイアウォールの警告画面が表示される場合がありますので、「アクセスを許可する」をクリックしてください。



- ②ユーティリティ起動後、「Scan」ボタンをクリックすると検索が開始され、本製品のIPアドレスなどが表示されます。

※それぞれの接続設定が正しく行われていないと、IPアドレスは表示されません。

※Wi-Fi接続の場合、IPアドレスは「10.10.10.254」と表示されます。有線LAN接続(DHCP)の場合、IPアドレスはご使用の環境により異なります。



③初回アクセス時は、「Windowsセキュリティ」の画面が表示されて、IDとパスワードの入力を求められます。

本製品の初期設定は、

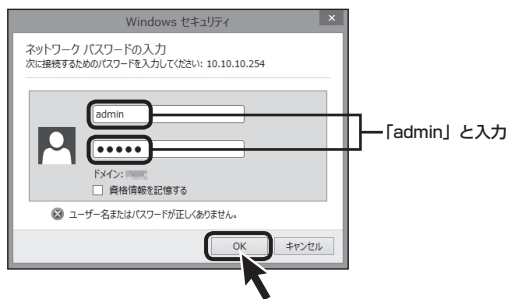
●ID：admin

●パスワード：admin

となりますので、上記を入力して「OK」ボタンをクリックします。

※「OK」ボタンをクリックする前に「資格情報を記憶する」にチェックを入れておけば、次回アクセスからこの入力を行う必要はありません。

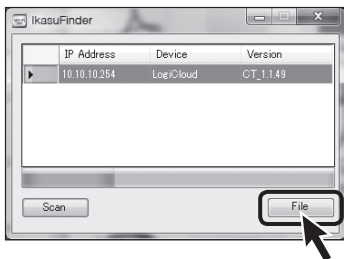
また、パスワードは本製品の設定から変更することが可能です。



PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通)

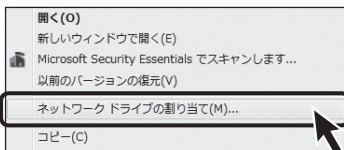
●Windows PCからのアクセス方法(つづき)

- ④ 検索完了後、「File」ボタンを押すと、本製品に接続したHDD/SSDが表示されます。



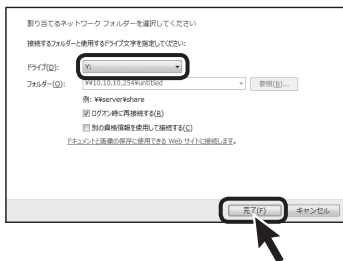
- ⑤ 表示されたHDD/SSDを右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。

※ここで表示されるフォルダ名称はHDDのボリュームラベルになります。ただし、ボリュームラベルに日本語を使用している場合は「Disk x(数字)」と表示されます。

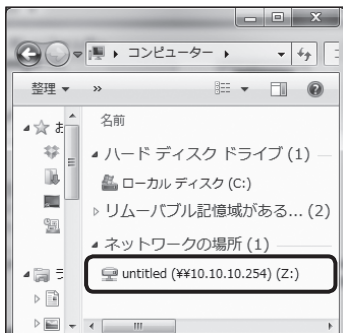


⑥ドライブ文字を選択して「完了」ボタンをクリックします。

※ドライブ文字が他のUSBデバイスなどと重複しないようご注意ください。



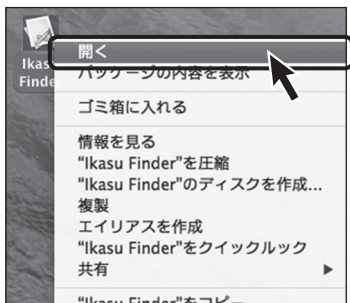
⑦コンピュータにデバイスがマウントされ、アクセス可能になります。



PCから本製品にアクセスする (Wi-Fi/有線LAN共通)

●Mac OS からのアクセス方法

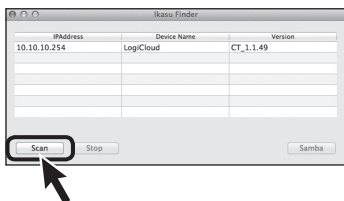
- ① Ikasu Finder.appのファイルを右クリックして、ポップアップメニューから「開く」を選択します。



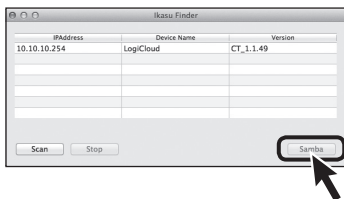
警告が表示されますので、「開く」をクリックしてユーティリティを起動します。



- ② ユーティリティ起動後、「Scan」ボタンをクリックすると検索が開始され、本製品のIPアドレスなどが表示されます。



- ③ 検索完了後、「Samba」ボタンをクリックします。



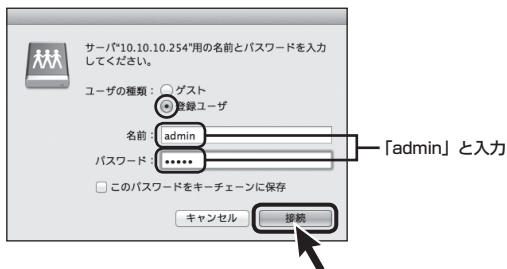
- ④ 初回アクセス時は、本製品の管理者ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、次のように設定後、「接続」ボタンをクリックします。

●ユーザの種類：登録ユーザ

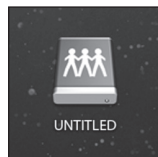
●名前：admin

●パスワード：admin

※「接続」ボタンをクリックする前に「このパスワードをキーチェーンに保存」にチェックを入れておけば、次回アクセスからこの入力を行う必要はありません。



- ⑤ デスクトップにHDD/SSDがマウントされ、アクセス可能になります。



本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

本項では、本製品をWi-Fi/有線LAN接続で使用する際の各種設定方法を説明します。

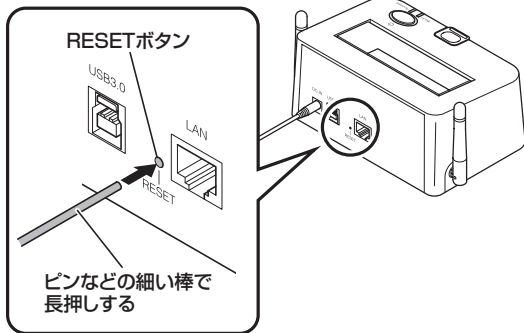
接続方法により、設定できる項目が異なります。

- Wi-Fi接続のみ：Wi-Fi接続時に適用される設定です。
- Wi-Fi/有線LAN共通：Wi-Fi/有線LAN接続のどちらにも適用される設定です。

設定の変更を適用した際、本製品の再起動が必要になる場合があります。

●リセット方法

設定を誤り、本製品にアクセスできなくなった場合、本製品をリセットすることで、出荷時状態に戻すことが可能です。
次の方法で本製品をリセットします。



〈設定方法〉

- 電源オンの状態で約10秒程度リセットボタンを長押しする
- ↓
- アクセスLED/Wi-FiステータスLEDが消灯する
- ↓
- 再び点灯すればリセット完了！

— 小もくじ —

- 本製品のIPアドレスを設定する P.54
- スリープ機能を無効にする..... P.56
- スリープ機能の設定方法..... P.57
- 仮想メモリを無効にする..... P.59
- 仮想メモリの設定方法..... P.60
- 本製品のセキュリティ設定を変更する..... P.62
- 本製品のSSIDを変更する P.64
- 本製品のSSIDを非表示にする（SSIDステルス機能） P.66
- 本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする P.71

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

● 本製品のIPアドレスを設定する

適用 Wi-Fi/有線LAN接続共通

本製品にIPアドレスを割り振ることによって、固定IPアドレス環境でも本製品を使用することができます。

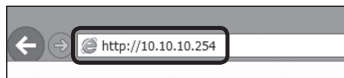
※本設定を行うためには、Wi-Fi接続を行うか、お使いのインターネット環境を固定IPアドレスからDHCPに戻す必要があります。

※お使いのインターネット環境がDHCPの場合、本設定は必要ありません。

■ IPアドレスの設定方法

【Wi-Fi接続の場合】

- ① お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「http://10.10.10.254」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



【有線LAN接続の場合】

- ① ユーティリティソフト「IkasuFinder」で表示されたIPアドレスを、インターネットブラウザのアドレスバーに入力してエンター(リターン)キーを押します。

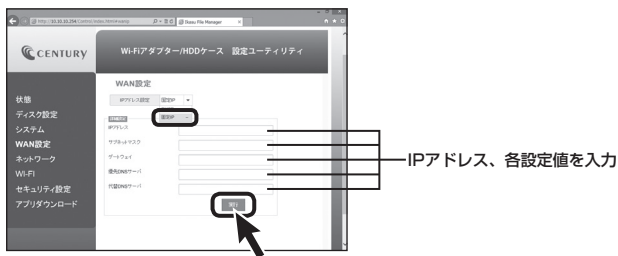


「IkasuFinder」に表示されたIPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力

- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「WAN設定」をクリックします。



- ③「IPアドレス設定」をDHCPから固定IPに変更すると、画面下に詳細設定の項が表示されますので、本製品に設定する設定値を入力し、「実行」をクリックします。



- ④自動的に本製品の再起動が始まりますので、再起動後、PCをDHCPから固定IPに設定しなおし、本製品に設定したIPアドレスでアクセスが可能かお試しください。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●スリープ機能を無効にする

適用 Wi-Fi/有線LAN接続共通

Wi-Fi/有線LAN接続時、5分間データアクセスがないとHDDの回転を停止させるスリープ機能を無効にします。



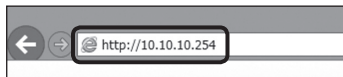
注意

本機能はHDD搭載時のみ有効です。SSD搭載時は機能しません。

●スリープ機能の設定方法

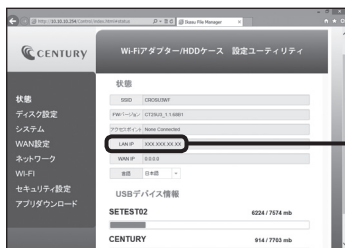
【Wi-Fi接続の場合】

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「http://10.10.10.254」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



【有線LAN接続の場合】

- ①ユーティリティソフト「IkasuFinder」で表示されたIPアドレスを、インターネットブラウザのアドレスバーに入力してエンター(リターン)キーを押します。



「IkasuFinder」に表示されたIPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力

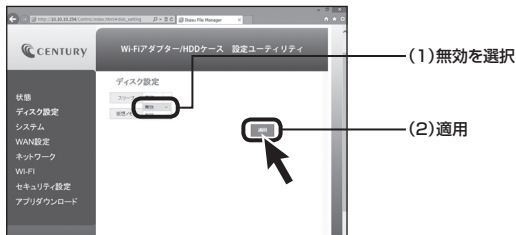
本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●スリープ機能の設定方法(つづき)

- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ディスク設定」をクリックします。



- ③「スリープ」を有効から無効に切り替え、「適用」ボタンをクリックします。



●仮想メモリを無効にする

適用 Wi-Fi/有線LAN接続共通

本製品は、接続したHDD/SSD内のファイルやサムネイルを高速に表示させるため、初回電源投入時に仮想メモリファイルを作成します。

仮想メモリ領域は64MB～128MBの容量を消費します。

仮想メモリをオフにすることで、HDD/SSDの容量を最大限データに割り当てることができます。

※仮想メモリをオフにすると、インデックスやサムネイルの作成に時間がかかるため、HDD/SSDの容量に余裕があり、快適に使用したい場合は本機能を有効の状態でご使用ください。

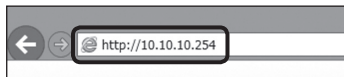
※仮想メモリファイル作成時間はHDD内のファイル数に比例して長くなります。作成中はアクセスLEDが点滅し続けます。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●仮想メモリの設定方法

【Wi-Fi接続の場合】

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「http://10.10.10.254」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



【有線LAN接続の場合】

- ①ユーティリティソフト「IkasuFinder」で表示されたIPアドレスを、インターネットブラウザのアドレスバーに入力してエンター(リターン)キーを押します。

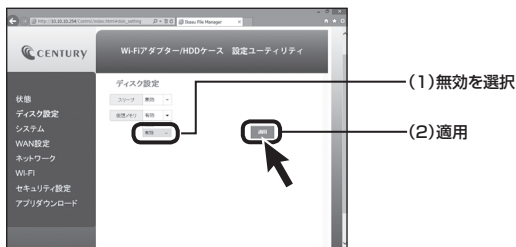


「IkasuFinder」に表示されたIPアドレスをブラウザのアドレスバーに入力

②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ディスク設定」をクリックします。



③「仮想メモリ」を有効から無効に切り替え、「適用」ボタンをクリックします。



本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●本製品のセキュリティ設定を変更する

適用 Wi-Fi接続のみ

■セキュリティの概要 (Windows/Mac共通)

本製品は出荷時状態でWPA2+AESのセキュリティキーが設定されていますが、出荷時状態はすべて「12345678」に設定されていますので、必要に応じてセキュリティキーを変更してください。

■セキュリティキーの変更方法

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「http://10.10.10.254」を入力してエンター（リターン）キーを押します。

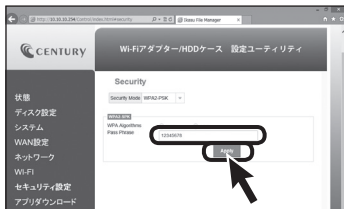


- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「セキュリティ設定」をクリックします。

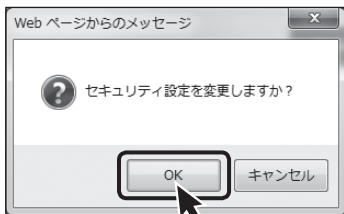


- ③セキュリティモードとパスワードが表示されるので、「Pass Phrase」の項に変更したいパスワードを入力して「Apply」ボタンをクリックします。

※Security Modelは「Desable(無効)」 「WEP」「WPA-PSK」「WPA2-PSK」から選択可能ですが、セキュリティの観点から「WPA2-PSK」を使用することをお勧めします。



- ④変更確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると自動的に本製品が再起動します。



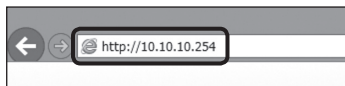
- ⑤再起動後はセキュリティキーが変更されていますので、再度 P.26【Wi-Fi接続の設定方法】の手順で本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。接続の際には、新しく設定したセキュリティキーを入力してください。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●本製品のSSIDを変更する

適用 Wi-Fi接続のみ

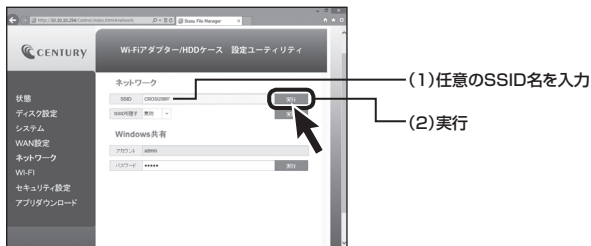
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



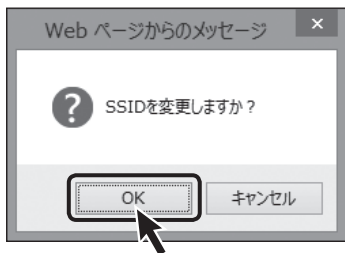
- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ネットワーク」をクリックします。



③SSIDの項に任意のSSID名を入力し、「実行」をクリックします。



④変更確認のメッセージが表示されますので、問題なければ「OK」ボタンを押してください。



⑤本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにしたあと、再度P.26【Wi-Fi接続の設定方法】の手順で本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。接続の際には、新しく設定したSSIDを選択してください。

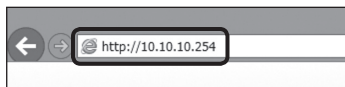
本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●本製品のSSIDを非表示にする (SSIDステルス機能)

適用 Wi-Fi接続のみ

本製品のSSIDを他者のWi-Fiデバイスから見られないように、SSIDを非表示にすることができます。

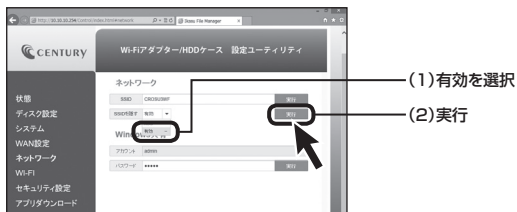
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに
「**http://10.10.10.254**」
を入力してエンター(リターン)キーを押します。



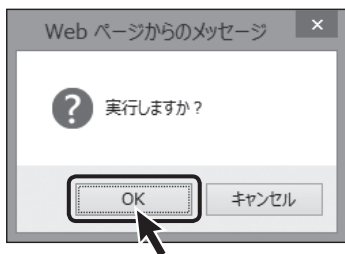
- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ネットワーク」をクリックします。



③「SSIDを隠す」の項から「有効」を選択し、実行ボタンをクリックします。



④変更確認のメッセージが表示されますので、問題なければ「OK」ボタンを押してください。



⑤本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにすると、Wi-FiのSSID一覧からSSIDが表示されなくなります。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

● 本製品のSSIDを非表示にする (SSIDステルス機能) (つづき)

■ SSID非表示後のWi-Fi接続方法 (Windows の場合)

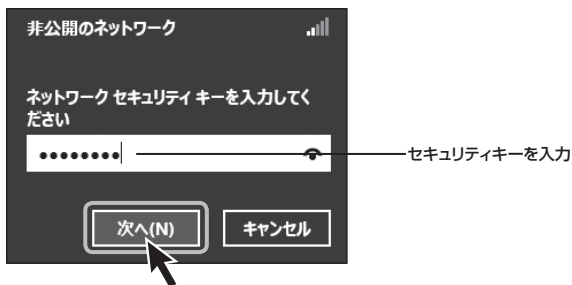
① Wi-FiのSSID一覧から「非公開のネットワーク」を選択し、接続をクリックします。



② SSIDを入力し、「次へ」をクリックします。SSIDを変更している場合は変更したSSIDを入力します。



- ③ ネットワークセキュリティキーを入力し、「次へ」をクリックします。
セキュリティキーを変更している場合は、変更したセキュリティキーを入力します。



Tips

セキュリティキーを変更してわからなくなったら？

リセットを行って、最初から設定をやりなおしてください。
詳しくは、P.52「●リセット方法」を参照してください。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

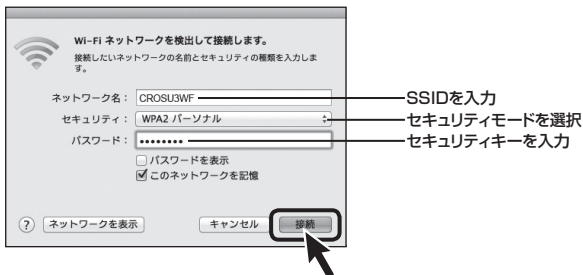
●本製品のSSIDを非表示にする(SSIDステルス機能)(つづき)

■SSID非表示後のWi-Fi接続方法〈Mac の場合〉

- ① 上部タスクバーのWi-Fiマークをクリックし、SSID一覧から「ほかのネットワークに接続」をクリックします。



- ② ネットワーク名にSSID、セキュリティモード、パスワード(セキュリティキー)をそれぞれ入力し、「接続」をクリックします。
SSID、セキュリティモード、パスワードを変更している場合は設定変更後のものを入力してください。



●本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする

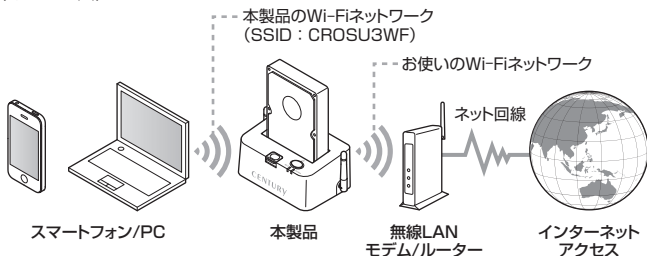
適用 Wi-Fi接続のみ

■アクセスの概要 (Windows/Mac共通)

Wi-Fi接続を行うと、接続先が本製品になるため、インターネットに接続できなくなります。

本章の設定を行うことで、インターネットへのアクセスが可能になります。

(イメージ図)



いちど設定を行えば、次回からは自動的に無線LANモデム/ルーターへ接続されます。

※接続には無線LANモデム/ルーターが必要です。

有線LAN接続では本設定は使用できません。

※本製品のWi-Fiネットワークと、お使いのWi-Fiネットワーク間でのファイル共有等はできません。

ファイル共有を行う場合は、無線LANモデムに有線LAN接続を行ってください。

※お使いのWi-Fiネットワークから本製品に接続したUSBストレージ、設定画面へはアクセスできません。

アクセスを行いたい場合は、無線LANモデムに有線LAN接続を行ってください。

※お使いの無線LANモデム/ルーターでDHCPを使用せず、各端末に固定IPアドレスを割り当てている場合、本製品のIPアドレス設定が必要となります。

詳しくは、P.54「●本製品のIPアドレスを設定する」をご参照ください。

本体の各種設定を行う (Wi-Fi/有線LAN共通)

●本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする(つづき)

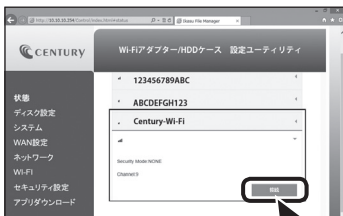
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「Wi-Fi」をクリックします。



- ③接続可能なWi-FiアクセスポイントのSSIDが表示されますので、お使いの無線LANモデム/ルーターのSSIDを選択し、「接続」ボタンをクリックすると、本製品とのWi-Fi接続が開始されます。



お使いの無線LANモデム/ルーターにセキュリティパスワードが設定されている場合は、設定されたパスワードを入力してから「接続」ボタンをクリックしてください。

※ステルス指定した無線LANモデム/ルーターには接続できません。

- ④接続を開始すると、自動的に本製品が再起動します。再起動すると、いちど本製品とのWi-Fi接続が解除されますので、再起動完了後（本体のWi-FiステータスLEDが青点灯）、**P.26【Wi-Fi接続の設定方法】**の手順で、本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。

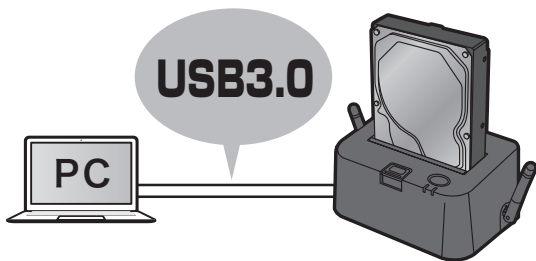


- ⑤PCと本製品のWi-Fi接続が完了したら、お使いのインターネットブラウザを開き、インターネットアクセスができるかを確認ください。

本製品とPCをUSBで接続する

●USB接続

本製品とPCをUSB3.0/2.0ケーブルで接続します。
高速にデータ転送を行いたい場合はUSB接続をお勧めします。



※Wi-Fi、LANとの同時接続、同時使用はできません。

接続方法→P.75

● 接続方法

図のようにして本製品とPCを接続します。

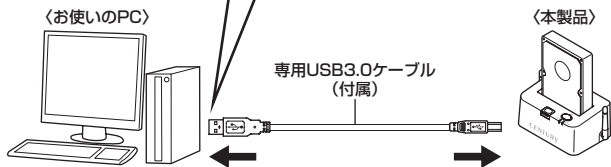
※Wi-Fi接続を行う場合はUSB接続は不要です。



ケーブルを接続する前に、本製品の電源が“オフ”になっていることを必ずご確認ください。

USB3.0またはUSB2.0/1.1コネクタへ

※ PC側のUSBインターフェイス形状はUSB3.0/USB2.0/USB1.1とも共通ですので、USB3.0以外のUSBホストにも付属のUSB3.0ケーブルがご使用いただけます。



●●●●●●●●
《各ケーブル接続後、電源を入れる》

※新しいHDD/SSDを搭載した場合は、領域の確保およびフォーマットが必要となります。

詳しくは、巻末付録【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

※本製品はUSB接続以外にも、Wi-Fi接続でPCとデータの転送を行うことができます。

Wi-Fi接続の方法は、P.26【Wi-Fi接続の設定方法】をご参照ください。

※大容量のデータ転送を行う場合は、USB3.0/2.0接続をお勧めします。

※USB接続、Wi-Fi、有線LANの同時接続・同時使用はできません。

トラブルシューティング

■Wi-Fiのリストに「CROSU3WF」が表示されない

→以下をお試しください。

- ・パワーLEDが点灯しているか確認する
- ・Wi-FiステータスLEDの点灯を確認する
- ・CROSU3WFと接続機器の距離を近づけてみる

■不定期にネットワークから「CROSU3WF」が消失してしまう

→電子レンジなどの無線機器に影響をおよぼす家電製品がある場合、距離をおいて試してください。

また、無線LANやWi-Fiを使用した製品が多い場合、機器を減らした状態(電源をOFFにするなど)で動作をご確認ください。

■ユーティリティのダウンロードはできたが、IkasuFinderから「CROSU3WF」に接続できない。

File/Sambaボタンを押しても反応がない

→環境により、開くまで若干の時間がかかる場合があります。

3分程度待っても変化がない場合、接続を再度ご確認ください。

■新しいHDD/SSDを接続したが、ディスクが表示されない

→新しいHDD/SSDを接続した場合、PCとUSB接続し、領域の確保とフォーマットをする必要があります。

領域の確保とフォーマットについては、巻末付録【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■スマートフォンから容量の大きいファイルをコピーするとエラーになってしまう

→仕様となります。

1ファイルあたり、200MBを超える容量のコピーを行う場合は、PCからコピーを行ってください。

■対応しているフォーマットの動画で再生が行えない、音声や画像だけが出力されない

→拡張子が対応しているデータでも、使用しているコーデックなどの形式によっては再生が行えません。

また、著作権保護されたデータや、インターネット経由でデータを取得するタイプの形式には対応しておりません。

■動画などの再生が途中で止まったり、コマ送りのようになってしまう

→データ形式によっては転送が追いつかず、そのような現象が発生する可能性があります。

パソコンなどで再生レートを変更したデータを別途作成して、再生してください。

また、複数のスマートフォンなどで再生した場合、再生が追いつかない場合があります。

この場合は、アクセスする機器を少なくしてお試しください。

■動画の再生が止まる。ファイル一覧が表示されない。アクセスが遅い

→初回起動時には仮想メモリファイルの作成を行うため、動作が非常に遅くなります。

しばらく待って、仮想メモリファイルの作成が終わってから再度お試しください。

トラブルシューティング

■Wi-Fi接続でルーターへの接続設定を行ったがインターネットにアクセスできない

→<http://10.10.10.254> の設定画面を開き、左側のメニュー「状態」を押し、アクセスポイントの所が設定した無線LANモデム/ルーターになっているかをご確認ください。

設定した無線LANモデム/ルーターになっていない場合、パスワードの入力が間違えている可能性があります。

この場合、P.52の「●リセット方法」を行ってから、再度設定をやり直して動作をご確認ください。

<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>

FAQ

Q：自宅で接続した「CROSU3WF」に外出先からアクセスできますか？

A：有線LAN接続の場合であれば可能です。
Wi-Fi接続を行った場合はできませんのでご注意ください。

Q：AOSS、らくらく無線スタート、WPSなどの無線LANの設定方法に対応していますか？

A：残念ながら対応しておりません。

Q：IkasuFinderを実行すると「アプリケーションを正しく初期化できませんでした。(0xc0000135)」とエラーが表示されて実行できない。(Windows)

A：IkasuFinderは Microsoft .NET Framework のパッケージを使用しております。
Windows Updateをくり返し実行して、OSを最新の状態にして再度お試しください。

Q：仮想メモリファイルの作成はどれくらいの時間がかかりますか？

A：例として、ファイル数30,000、容量500GBのMP3ファイルが入ったHDDを接続した場合、約5分程度の時間がかかります。
ただし、接続したHDDの性能や、HDD内のファイル数、種類、CROSU3WFへのアクセス状態によって、時間は大幅に変わります。

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合 …………… 巻末付録2
- ハードウェアの取り外しについて…………… 巻末付録8
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録8
- Mac OS での使用方法 …………… 巻末付録10

！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば、次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

●領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

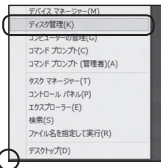
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合

1.



□Windows 8

画面左下を右クリックし、「ディスク管理」を開きます。

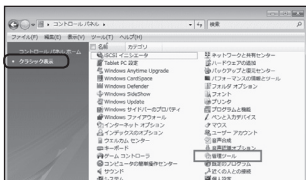
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

*コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

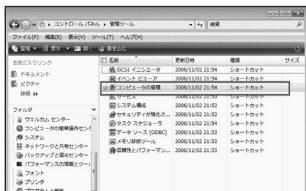


□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示*】→【管理ツール】を開きます。

*コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



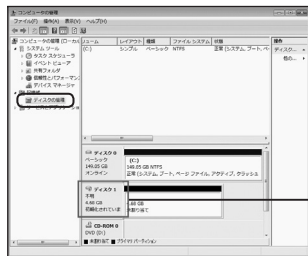
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

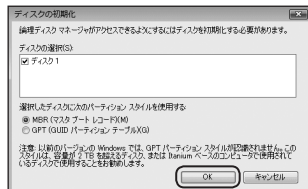
3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

●領域の確保とフォーマット

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

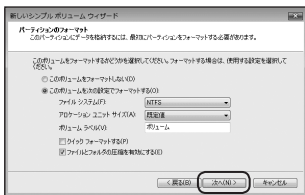
特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

●領域の確保とフォーマット

9.



【パーティションのフォーマット】
ウィンドウが表示されます。

・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

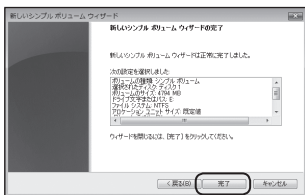
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

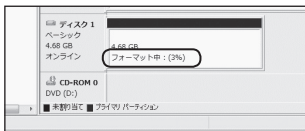
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

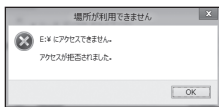
11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとする
と警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、
ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないで
ください。故障の原因となります。

巻末付録

●ハードウェアの取り外しについて

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA/FireWire/Thunderbolt等、USB接続以外の取り外しは対象外です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をしたうえで、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

●ハードウェアの取り外し手順

※画面は Windows 8 のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

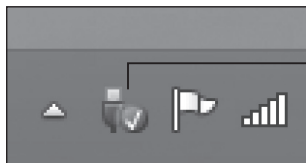
①「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ (F:) を取り外す場合

名前	種類
▼ ハード ディスク ドライブ (3)	
ローカル ディスク (C:)	ローカル ディスク
ボリューム (D:)	ローカル ディスク
ボリューム (E:)	ローカル ディスク
▼ リムーバブル記憶域があるデバイス (1)	
CENTURY (F:)	リムーバブル ディスク

ドライブレター

②タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン

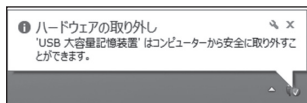
③手順①で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



ドライブレターを確認

※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

④取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



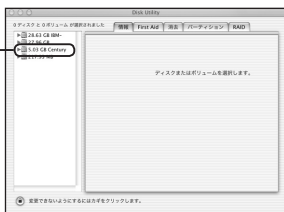
●Mac OS での使用方法

本項では Mac OS に新しいHDD/SSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

1.



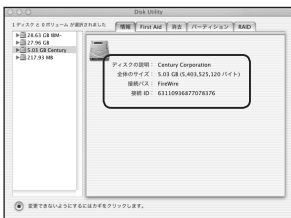
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名** **前**：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。Mac OS 標準、Mac OS 拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS 標準か Mac OS 拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9 ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9 で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

●Mac OS での使用方法(つづき)

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」
をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップ
にマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふた}二^{おきな}翁^{はら}原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】 <http://www.century.co.jp>

【Mail】 support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】 <http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.